

稲生沢地域まちづくり会議ニュース 第2号

「将来も持続可能な稲生沢地域のまちづくりを考えよう」

～実践活動へ向けての取り組み～

実施日：平成26年12月2日（火）

会場：稲生沢公民館

稲生沢地域で活動や居住されている20名のまちづくり会議委員によって、今回は、前回決めた重要な3つの事柄についての、実現のための具体策を検討しました。

グループごとの成果（Aグループ）

具体的には

方針 方向（基本項目）	方針、方向を実現するために こんなものに取り組んでいきたい
まちづくりの方向性は？	市民が住みやすいまち・魅力を感じるまちには自然と外部からも人が訪れる
住みやすいまち (住民主体)	当地区は文教地域であり、みんなで環境を良くすれば、みんなの意識も向上する
観光客等が訪れるまち	将来を考えると、観光客を呼び込むことを優先したらよい
1. 稲生沢川を 活かしたまちづくり	四季の花咲く稲生沢川にする（土木事務所のリバーフレンドに協力している） （伊豆急の線路沿いに枝垂れ桜を有料で植えている 稲生沢はシダレモモを） 稲生沢川の親水空間 シダレモモ等の花の植栽を行って特色を出す ・シダレモモは3月～4月にかけて花が咲き、とても魅力があり、地区に広げていきたい。 ・子どもたちが一人1本シダレモモを植える。育てて親しむと愛着がわく ・シダレモモを稲生沢川の土手にみんなで植えよう 稲生沢川の右岸(河内のダムの下)にアガパンサスが咲いているが、とても良い。 全国へ鮎釣りに行くが、自然の状態のよいところには魅力がある そのためには、 堆積物の除去を行い 階段等により、人が川面に近づけるようにすることが必要 通学路を花の道とする。また、つり橋があればよい。 蓮台寺の温泉街に路地があり、風情があるところに（閉鎖された温泉旅館を活用して） 温泉施設があればよい。 蓮台寺の温泉施設で廃業した旅館の活用をしたいが、なかなか貸してもらえない 伊豆縦貫自動車道のICの名称を蓮台寺温泉ICにして、伊豆急行の蓮台寺駅を蓮台寺温泉駅 にしたらどうか？ 蓮台寺温泉にも日帰り温泉があれば良い(温泉会館、簡易な露天風呂などでも話題になる) 大沢を星の里とする。ホテルもいるので活かしたい。 ⑩夜空の星を見たい人がいる。空に光を向けずに、足元を照らす照明を設置したらよい。
2. 文教地区の交通安全	下田高校が合併するときにも通学路の協議をしたが、交通安全は地区で協議すべき。 ・赤くした通学路は、活かされている ・ルールが守られていないところがある
3. 歴史を活かす	吉田松陰、大日堂、お吉が淵などの歴史資源を活かすべき。

グループごとの成果（Bグループ）



具体的には

方針 方向（基本項目）	方針、方向を実現するために こんなものに取り組みたい
1. ウォーキング による回遊性	<p>ウォーキングマップづくり（花と歴史）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲生沢小学校前の道路が狭いので、立野公園の方に行ける道まで安全に通れるとよい ・ 通りに名前をつける（「哲学の道」などのように） ・ 松陰ゆかりの奇処、天神神社、大日如来像など歴史のまちづくり見学 <p>四季を通じた花が楽しめるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本郷、中、河内は桜、蓮台寺はシダレモモなど特徴のある花でPRする （伊豆急行は伊豆急下田駅付近の線路沿いに枝垂れ桜を植える） ・ 清流荘の桜並木が良いのでPRする <p>歴史、文学等の資源の掘り起こす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吉田松陰、川端康成、山本周五郎、渡辺淳一、横山大観 ・ 立野の中ノ瀬の通りは、歴史資源が多いのでそれを活かす <p>上大沢でホテルが見られる PR</p> <p>立野公園でイベント（ウォーキングの出发点、拠点になる）</p> <p>旅館（昔は8軒、今は4軒、最盛期は15軒）と連携してみかん狩り、焼き物を体験させるなど、いろいろな展開は考えられる。</p> <p>すごい、行ってみたい、と思われる迫力がなければいけない</p> <p>ターゲットを誰にするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性を対象にするとか ・ 品のあるお客様を対象にするとか <p>看板もつくる</p>
2. 祭りの継承	<p>河内の手筒花火、天神神社秋季祭典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月の体育の日で土日 ・ 後継者（手筒花火）はいる ・ 手筒花火は素晴らしいものなのに、稲生沢中学校で年1回、1時間程度行うだけではもったいない ・ 昔は黒船祭りと同開催だったが、予算が減って今の状況になった （昔は秋市まで行って披露していた） ・ 旅館の食事の時間と花火の時間を調整（20：30からなど）すると宿泊客に勤めやすい <p>祭りのポスターを合同でつくる</p> <p>市内の祭りの状況を知りたい</p> <p>黒船祭りをGWに行ったらどうか（首都圏での認知度が低い）</p> <p>（昔は、1週間やったときもあった。あと、GWの後にやるのは、GWの期間後の客の落ち込み対策的な意味がある。）</p>
3. 若者の就労	<p>地元に戻りたい若者もいる。しかし働くところがない。</p> <p>就労に対する意欲は、親の育て方、育った環境。しかし働くところがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅館は人材不足（募集をしても来ない）（仕事環境は昔に比べて改善されている） ・ 建設会社も人材不足（募集をしても来ない） <p>どうしたら来たくなるのか、若い人の意見を聞くべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年寄りが話をしても意味がないので、高校生などの意見を聞くこと <p>地元住民による、既存旅館を活用した、国民宿舎風施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手作り、地元のパワー

第3回は、災害後のまちづくりについて検討します。



今後の稲生沢地域まちづくり会議の予定
第3回 平成27年 1月 6日（火）

「災害後の復興まちづくりを考える」

会場：稲生沢公民館

時間：19：00～21：00

見学が可能です。当日直接会場へお越しください。

お問い合わせはこちらまで

下田市役所 建設課

都市住宅係

TEL:0558-22-2219

FAX:0558-27-1007

E-mail : kensetsu@city.

shimoda.shizuoka.jp